

同情

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

エージェント山本君
エージェント小林君
エージェント清水君

黒スーツ、黒ネクタイ、黒眼鏡の三人組の男が横並びで立っている。小林、山本を気に掛けて、チラッと見る。

小林 山本君。
山本 …。
小林 山本君泣いてる？
山本 泣いてないって。
小林 山本君、泣いてる？
山本 泣いてないって小林君。
清水 山本君泣いてないのに泣いてるなんて言うなよ小林君。山本君泣いてまうやんか。
山本 泣かへんよ、清水君。

ため息をつく山本。

山本 俺、女性に一生縁がない星の下に生まれたんや。
清水 どんな星や。ナメック星か。

山本 今朝も、女子高生が車で財布落としたから、拾ってあげたのにやで、「何よ！」って言われてんで。

清水 仕方ないよ。

山本 何が仕方ないんよ、清水君。

清水 だって山本君、車で知らん人にいきなり声かけられたらな、誰だってなあのおなえつとなビックリするやんか。
小林 するする。

山本 違うねん清水君。

小林 違う言うてるやん、清水君。

山本 ちゃんと「財布落としたよ」って言うて、しかも財布受け取った後で言われてん。

小林 何でそんな酷い女の財布なんか拾ってあげるんよ。

山本 拾った後に言われてんもん。

小林 拾う前に言えよな。

山本 ちよつと違う…。

清水 ええやん別にキモいって言われたくらい。

山本 キモいなんて言われてないよ。「何よ」って言われたんや。

清水 あ、ごめん山本君。山本君ごめん。

小林 酷いわ清水君。会話の中に「山本君キモい」なんて言葉、今日一回も出て来てないやんか。

清水 ごめん。山本君。キモいっていうのは俺の早とちりやった。

山本 …。

清水 怒ってる？ 山本君。

山本 別に。

清水 ごめん。怒ってるやろ？ 山本君。堪忍したって。なあ、怒ってる？

山本 だから怒ってないって！

清水 怒ってるやん。

山本 それはしつこいからやん。清水君。

小林 しつこい言うてるやん、清水君。

問。

小林 清水君、今のはしつこいって。

清水 ええ？

小林 だって。清水君ちよつとしつこかったもん。

山本 だってな、…しつこかったもん。山本君、俺の方がしつこいやろ？

山本 何かもう。

小林 わかった！ せやから、今度はさ、その女子高生の前でわざと財布落としてそいつが拾った所で「何やねん！」って言えばええねん。

山本 …何が「わかった」なんか全然わからへんやんか。ほんで、多分、拾ってくれへんと思うし。

清水 どうやって拾わせよ？

山本 財布の話はもうええねんって。

清水 山本君、經理の平井は、高嶺の花や。

小林 そうやで。平井さんは我が社のアイドルやないか。

清水 惚れてまうんはわかるけど、めっちゃええ子やし。まあ、見る目はある。そら女運が悪いとかいう以前の問題やで。

小林 うん。

清水 だって二十人って噂やで。

小林 そうや、二十人やで。

山本 二十人って？

小林 平井さんに告白して玉砕した男の数。

山本 そうなん？

清水 二十人ってそういうことなん？

小林 え？ 何って聞いてたん？

清水 家族が…。

問。

小林 …ちよっと多いやろ。ほんで、家族が多い方が高嶺の花って理屈もわからんし。

突然身構える三人。問題なかったようで構えを解き、元の位置に戻る。

小林 開発の島袋君、総務の島袋君、あの営業の

島袋君も玉砕してんで。告白しただけでも、

勇気があるやん。

山本 ちよっと違うけど。

清水 てか、山本君、参考までにどんな告白したんよ。笑えへんから。

山本 …。

小林 ホンマに笑えへんし。

山本 …昼休みに大事な話があるから屋上に来てほしいって言うてん。

清水 屋上か。ま普通か…。

山本 そしたら、「嫌」って。

問。

清水 大丈夫やって！

山本 何が大丈夫なんか全然わからんよ！

小林 ホンマに笑えへんし。

清水 そこから断られたか。あちゃー。

小林 山本君の気持ちようわかる…。

山本 (ボン) 何がわかんのか？

小林 え？

山本 何がわかんのか？ ほな小林君が今の俺の状況になつたらどうなんよ。

小林 …何でそんな嫌なこと言うん…？

山本 え…？

清水 小林君、そんな落ち込むなよ。山本君かて

悪気があって言うたんとちやうんやから。

山本 ごめん。

山本、傷心のまま行ってしまつ。

清水 小林君の妹は小林君より年上やな。あ、ちや

うわ、小林君は小林君の妹より年上やな。

小林 何で間違えたんかもわからんし、何でそんなことを言い出すんかもわからん。

終わり。